

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日

銚子ロータリークラブ会報

第3302号 2025年3月26日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室 (銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

本日のプログラム

創立記念例会

「オーストラリアに日本国の土地があるの
知ってますか? 一カウラ事件」

杉山 俊明会員

前回例会報告 (3月19日)

点 鐘: 寺内 忠正会長

ロータリーソング: それでこそロータリー



ビジター紹介: 銚子税務署 署長 鈴木 邦典様

会長挨拶

皆さんこんにちは。弊社、工場移転の為、FSSC22000の認証が取り消しとなり、先週の木曜日、金曜日と2日間新しい工場でのFSSC22000の認定審査を受けました。FSSC22000は御存じでしょうか? 国際的な食品安全認証規格です。良く目にするのはISO9001とかISO14001とかですが、ISOでも種類があり、数字で判別します。FSSC22000は、ISO22000をベースに、より厳格なマネジメントシステムを要求する国際的な食品安全認証です。最近、あまり聞かなくなっているのですが、HACCPの考え方も取り入れられており、食品安全リスクを効果的に管理するための包括的な枠組みとなっております。弊社では、昔にISOの認証取得の話が出たときに、ちょうど

HACCPの話が持ち上がって来た所でもあったため、どうせなら、ISOとHACCP別々の認証を取るのではなくて、難易度は上がりますがFSSC認証を取る事としました。

認証も年々厳しくなり、現在はVer.6、実は6は結構大きな改定で、背景として言われているのが、食品サプライチェーンのグローバル化に伴い、食品安全のリスクが多様化食品安全に関する新たな課題(食品防御、食品偽装、アレルゲン管理など)への対応が必要 消費者の食品安全に対する関心が高まる中、より信頼性の高い食品安全マネジメントシステムが必要の為としております。

日本でも大きい事件がありました。覚えてる方も多いでしょう。中国製冷凍ギョーザ中毒事件、冷凍食品への農薬混入事件など、事件が起こる度に対策・対応が増えて行き、いっそう厳しい物になっています。

厳しくしないとはもちろんですが、個人的に悲しくなります。その度に費用がかさみ、さらに昨今の急激な高騰もあいまって、品質が悪い方になければ良いと思う一週間でした。

3/19 臨時理事会報告

- 1) 森田兼司会員退会承認の件 承認
- 2) 親睦旅行予算案の件 承認
- 3) 大船渡大規模山林火災災害支援の件 ... 承認
- 4) 両RC合同スポーツ大会予算案の件 承認

幹事報告

1. ロータリーデーJ:COM視聴のお知らせ
2. 友誌4月号目次事前案内
3. 奨学生記載間違いのお詫び
4. カウンセラー・米山奨学生・指導教員オリエンテーションのご案内

2024-25年度ステファニーA.アーチックRI会長 銚子RC Email d2790@choshi-rotary.club



The Magic of Rotary

製作◇広報・会報委員会

H P <https://www.choshi-rotary.club>

東川祐太郎 大岩將道 須永清彦 林紀宏◇



…ガバナー事務所

5. ハイライトよねやま 300

…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ニコニコBOX

◇寺内 忠正会長

FSSC22000 新工場にて認承ほとんど決まりです！

会員の記念日

お誕生日おめでとうございます！



須永 清彦会員(3月15日)



✿クシヅシ：高貴・誠実

結婚記念日 東 祥三会員(3月15日)
時友 良明会員(3月16日)
村田 等会員(3月18日)

卓 話

「時代の移り変わり」

銚子税務署 署長 鈴木 邦典様



皆さんこんにちは、ただいまご紹介頂きました、銚子税務署の鈴木でございます。銚子ロータリークラブの皆様方には、日頃より、税務行政に対しまして、ご理解ご協力を頂き誠に有難うございます。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

ほんじつは、少しお時間を頂きまして「時代の移り変わり」というお話をさせて頂きたいと思っております。税務署の立場も踏まえながら、皆さんにも少しご検討頂けませんか？というようなお話になってお

りますが、昔を懐かしみながら少し耳を傾けて頂けたら幸いです。

さっそくですが、自己紹介をしながら始めたいと思います。私は、1967年、昭和42年生まれでございます。東京の練馬区という場所で、生まれ育ちました。当時を振り返りますと、今はなくなったな——と思うようなものがまだ沢山あった時代に生まれ育ちました。(レコード・カセット・百科事典)父も母も商売屋で育ち、弟が2人いるのですが、いずれも商売をしており、サラリーマンは私1人という環境にあります。

税務署には、平成2年の4月に採用となりましたが、当時は消費税の導入やバブル景気で世の中が大騒ぎしている状況で、就職と言えば金融・証券関係へと言う時でした。

ここで、一つの指標をご覧いただきたいと思えます。この表は、世界企業の時価総額ランキングです。わかりやすく申し上げますと、その会社まるごと買うためにはいくら必要ですか？と言う感じです。表の左側が、バブルと言われた平成元年です。

世界のトップが [NTTで約21兆円、しかも群を抜いて首位であったことが分かります](#)、また、TOP5を見ましても日本企業が独占している状態となっていました。

NTTは、昭和62年に上場を果たし、全国民を過熱させた株式ブームの象徴でした。当時の初値が160万円でしたが、2ヶ月後には318万円にまで上昇するなど、皆さんもごぞつて、お買いになられたのではないのでしょうか？表を、ざーとみて頂きますと、金融機関が多数2位の日本興業銀行をはじめ、住友銀行、富士銀行、第一勧業銀行など当時の名前を見ますと懐かしい気がする方も多いのではないのでしょうか。当時は金融全盛でしたが、今振り返りますと、こんなに銀行が淘汰されるとは誰も想像していなかったのではないのでしょうか？まさにバブル時代の日本を象徴した、表と言えるのではないのでしょうか。

次に表の右側、現代の令和5年の表をご覧ください。近年は日本でも株価が4万円台とされる時代ではありますが、企業ごとの時価総額を見ますと世界とは大きな隔たり生まれてしまっています。ご覧のとおり、日本企業は [トヨタ自動車](#)の1社がランクインするのみとなっています。

ランキングには世界的にメジャーなIT企業が沢山入っており、今まさにITにけん引されている世の中だということが、おわかり頂けるかと思えます。横文字の知らない会社ばかりと思われるかもしれませんが、1位は皆様ご存じのとおり、iPhoneで有名なアップル社432兆円ですね。2位はWindowsで有名なマイクロソフト社、4位がグーグルで有名なアルファベット、5位がネット通販で有名なアマゾンですが、実は巨大なIT企業なんですね、続きまして、6位をご覧ください、今、アメリカ株の代表格となっています半導体製造で有名なエヌビデ

ニア、15位をご覧くださいますと熊本進出で話題となりました、台湾の半導体製造大手TSMCとなっております。皆さんも、熊本の工場周辺の畑が高層マンションにですとか、無人駅に毎朝大量の人が通勤など、地域が大パニックとなっているニュースをご覧くださいになった方も多いのではないのでしょうか。

今ご説明いたしました、2つの産業であるソフトウェア開発と半導体製造は、いまや、私たちの生活になくはならないものとなっております。

例えば、身近な物で言えば、スマホ、クーラー、給湯器、自動車など上げればきりがありません。また、間接的にも、あらゆる製造工程の機械のほぼ全てに半導体やプログラムが利用されています。

では、なぜ、世界的優良企業が生まれたのか、それは、世界の皆さんが利用するものに使われている、ソフトウェアや半導体を開発し、それを使わなければならないという状況を生み出してしまったからではないのでしょうか。特に中国では、スマホで使われているグーグルやIOSの利用をあきらめ、独自のソフト利用を推奨したり。世界各国で色々なもののマーケットシェア争いが相当、熾烈になっています。

現在、中国は14億人の人口を有し、統制もしていますので、ソフト利用数としては相当脅威ですが、人口から見ますと非常に魅力的な地位です。

他にも、インドが14億人の人口を有していますので、いま、世界戦略上最も注目を浴びているところだと言われています。中国経済がひと段落してしまったりと統制が厳しいことから、海外企業が中国からインドへとシフトしているそうです。インドもなかなか進出しにくい地域のようなようですが、14億人の人口や労働人口の平均が世界的にみて非常に若いことから、非常に魅力的な国となっているようです。当然、世界で使われるような仕組みを開発した会社は、大成功を上げます、世界標準となるために、大国同士が覇権を争っている。その最たる例が、今は、中国とアメリカなのではないのでしょうか。

こちらは、世界の人口推移です。爆発的に増加している傾向がお分かりいただけるかと思います。この覇権争いに、人口推移が大きく関係しているのです。

次は、インド、南アフリカのナイジェリア、コンゴ民主共和国、など、爆発的に人口の増えている国が、世界中から注目されるとともに、どこの国と手を組むと得なのかで、駆け引きが世界情勢となっている気がします。

では、少し日本に目を向けてみようと思います、いま日本は、空前のDX（デジタルトランスフォーメーション）ブームとなっております、コンサルタント会社やIT系の会社はおお忙しで、IT人材が不足だと言われています。それぞれの企業内においても自前の育成が急務となっております。皆さんも、様々なところでIT化の波を感じているのではないのでしょうか？ 身近な例でいえば皆さんもお使いの、PAY・PAYですとかd払い、WAONなどの電

子決済の拡大や、アマゾン、楽天などのインターネット取引の拡大、また、金融機関の口座開設、住宅資金の借入など、もはや、スマホ一つで完結し、窓口には出向かないものまで出てきています。しかも、これらデジタル社会を見据えて、金融機関の支店の統廃合やATMの削減など、身近にこの波を感じていらっしゃる方も多いのではないかと思います。皆さんも取引先との関係においても、DX（IT）化が求められているのではないかと思います。

ではなぜ、この様にDX（IT）化が騒がれ始めたのでしょうか？色々な理由がありますが、大きな理由としましては一つは、日本の労働人口の減少です。日本は徐々に人口が減少しており、労働人口が確保しづらくなってきています。

日本の人口数が表示されています。ご覧のとおり、年々人口が減っていることが見て取れると思います（銚子・旭・匝瑳）参考ですが、こちらが各市の人口推移です。ご覧になられてどのようにお感じになれるのでしょうか？

銚子は現在が5万8千人、2050年には2万8千人
旭は現在が6万3千人、2050年には4万5千人
匝瑳は現在が3万5千人、2050年には2万人です。

この様な、人口推移もあり、事業によっては、決まっていることや簡易なものは、機械仕掛けに任せて、浮いた人員を他に回さないと、事業が回らない状況になってきているのです。

ここで、私が感じた、人が足りないという例を申し上げます。例えばファミレスです。席は空いているのに、案内する人員がいない、食べ終わったものを片付ける人がいないなど、お感じになられた方はいないのでしょうか。場所によっては、配膳ロボットが店の中をうろつくようになってきましたし、注文もタブレットなんてゆうのもだいぶ増えているかと思います。他にも、電気の検針です昔は人が検針して回っていましたが、今は自動検針となっています。これからガス・水道もその様にしていくそうです。あげればきりがありませんが、ガソリンスタンドもすっかりセルフとなりましたし、ユニクロでは自動レジなど、昔と比べれば相当様変わりしており、今まで、人が関わっていた仕事で、自動化できるものは機械へと、あらゆるところで、IT化によって人材を有効活用しようと言う流れになってきているのではないのでしょうか。

いままさに人が足りないので、定年を延長するか、出産後の離職を回避する、勤めやすい環境を整えるなど、労働人口を増やそうと各企業が必至なのです。

また、最近では、時給を高くしないと、ですとか、労働環境を良くしないと、ですとか、希望する業務につかせないと、ですとか、働く人の要望に合致するものがないと人が集まらない状況になってきています。ニュースで話題にもなりましたが、優秀な人を集めようと、初任給から超高額な報酬を出すといった企業も沢山出てきています。昔は、給料が

高いことに魅力を感じていたと思いますが、今は、働く人の価値観にあった企業に勤めるといった人たちも多くなっているそうです。

このような状況から、限られた人材を有効に活用しない企業は、生き残れない時代がすぐそこまで来ているのかもしれませんが。皆さんの、ご事業も徐々に、人手が必要な部分と、省ける部分、機械化できる部分など、大きく見つけなおさなければいけない時代なのかもしれません。

ここで、国における取組を少しご紹介いたします。

国も、御多分に漏れず、すごいスピードでデジタル化を推奨し、推し進めています。

お手元の資料の裏面をご覧ください。政府の取り組み（抜粋）です、

なぜデジタル・ガバメントが求められているのか

さらに、日本では少子高齢化が大きな課題となり、地方では過疎化が進む町が増えています。住民の人口が減っても、自治体が管理する地域の広さや業務の量が大きく変わることはありません。しかし、住民の人口が減れば、財源は少なくなり、職員の数も減少します。このため、住民に十分な行政サービスを提供するには、従来と同じ業務の進め方では対処できず、業務プロセスの変革による効率化が必須になるのです。

このような理由から、国はデジタル化を推進しているのです。あまり知られていないかもしれませんが、国家規模で言えば、地方自治体で保有するシステムデータを全国統一化しようと非常に大きなプロジェクトが進行中で、総務省とデジタル庁、地方自治体が一丸となって自治体のデジタル化が推進されています。

賛否ありますが、マイナンバーもその一つですし、人を介在させずにスムーズな行政をと言うことなのかもしれません。このような、国の大方針に基づき、国税庁におきましても、あらゆる面でデジタル化を推進しております。

国税では現在、所得税・法人税・消費税・源泉税などほぼ全ての申告が、E-Tax で電子申告、また、ほぼ全ての納税も電子で納税できる仕組みになっております。いま、国税庁は「税務署に行かずにできる確定申告」を目指し、様々な取り組みを実施している、ということです。当然、電子化を進めることにより、納税者方々の利便の向上はもとより行政効率の向上にもなりますし、さらには、書類等を電子化することにより、大幅なコストカットをも実現できるとも考えています。是非皆さんも、お話の中で申し上げました、人のちからの有効活用を念頭に、業務や事務の効率化を検討してみたいかがでしょうか。

IT の導入に当たっては、補助金の対象となるものも多数ありますので、興味のある方は、地域の商工会議所に相談してみてください。長々と、ご清聴ありがとうございました。

委員会報告

松本 恭一社会奉仕委員長
令和 7 年大船渡大規模山林火災災害支援の募金箱をまわしますのでご協力をお願いいたします。
※地区が窓口となり取り纏めて第 2520 地区へお送りします。



【出席報告】

会員総数 34 名 出席計算 32 名

出席 21 名 欠席 11 名

出席率 65.63%

欠席：東君・東川君・林君・村田君・中村君

大里君・信太君・田中君・上原君

森田君・吉原君

【M U】

3/22 会長エレクトセミナー 淵岡君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 6,000	計	¥357,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 39,185
米山 BOX	¥ 1,705	計	¥ 34,663
希望の風	¥ —	計	¥197,900
大船渡大規模山林火災災害支援	¥19,000		

次週（4月2日）プログラム

「銚子に住んで見て」 金島 直美様

お弁当：犬吠埼ホテル(幕の内)

The Four-Way Test

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか